**「プチプチ浮沈子」見学記**

「プチプチ浮沈子」相武台子供センター（小学校１〜３年生）

水爺です。  
　１０月１８日（水曜日）相武台子供センターで開催された  
「プチプチ浮沈子」の授業を見学させて頂きました。  
　田中代表をはじめとするメンバーの皆さんの熱心なご指導に  
感心すると云うより、頭の下がる思いでした。  
　原理は、高度な理論で初めて、説明できるような題材でありながら、  
巧みに「理科で遊ぼう」にしてしまっているところが、素晴らしかったです。  
　実は、僕は、始まる前は、こんな題材を、小学校低学年の子供が相手で、授業になるのか？」  
と疑っていたのですが、見事に裏切られました。  
　長い間、かけての用意周到な準備の期間があってのことと、推察いたします。  
  
　あの子供たちは、近所の小学校に通う、  
親ごさんが、共働きの方の学童保育の児童だったのですね。  
　実は、僕の孫たちも、親が共働きなので、  
東京で、学童保育に行っております。  
　それなのに、学童保育とは、どんなところで、何をしているのか、  
今まで、知らなかった自分にとって、良い社会勉強にもなりました。  
  
　館長さんと、立ち話ながら、いろいろと、お聞きしました。  
　あの館長さんは、元は、中学校の理科の先生」だとか言っておられました。  
「理科で遊ぼう会」の、この国の子供たちの理科離れを、  
憂えて、なんとか防ぎたいとの思いでの活動」に共感をお持ちのようでした。  
　子供たちで、「塾」へ行っている子は、いますか？」と尋ねたところ、  
塾へ、行く、行かないは、自由なので、ここの定員は４０名なのですが、  
今日、出席している子は、３０名、他の１０名程度は、  
「塾」とか、野球の練習とかの習い事に行っているとのこと。  
　「塾」なんかへ、行くよりは、この「理科で遊ぼう会」の授業を受けた方が、  
はるかに、ためになりますよね」と言いたかったですが、  
そこは、ジッと、我慢しました。  
　あの子供センターでは、中学・高校生の部があって、  
そこは、夜８時まで、やっている日もあるとか。  
　できたら、その中学・高校生を相手に、今回のような講座を、理論を含めて、  
開いたら、熱心な子が食いついてくるのではと、思たりしました。  
  
いずれにせよ、有益な見学の機会を与えてくださり、ありがとうございました。